

長商の近藤さん 日本代表に

長野商業高校3年の近藤里桜さん(17)は、千曲市稲荷山に、マイクロソフト社公認のソフトウェアの資格試験「マイクロソフト・オフィス・スペシャリスト(MOS)」の合格者を対象にした「MOS世界学生大会」の日本代表に選ばれた。日本の運営会社によると、県内からは初の選出。米国サンディエゴで8月1、2日に行われる決勝戦に出場する。

県内から初選出



MOS世界学生大会の日本代表に選ばれた近藤里桜さん

MOSは文章作成の「ワード」、表計算の「エクセル」、図や文字をスクリーンに表示する「パワーポイント」など、同社製ソフトウェアの利用能力を証明する資格で、パソコンの実技試験を行う。

日本の運営会社のオデッセイコミュニケーションズ(東京)によると、大会はワード、エクセル、パワーポイントの3部門があり、対象は高校生

のほか、専門学校生や大学生ら。予選を経て決まった日本代表は5人で、近藤さんはワード部門の代表だ。前回大会は54カ国から延べ約11万5千人が大会に申し込んだ。

近藤さんが学ぶ同校商業科はMOSの受験を推奨する。近藤さんは今年1月にワードを受験、大会にも申し込んだ。結果は満点の「1000点」で、1次試験を突破した。

2次試験は「将来の夢」と題した小論文や面接などの総合評価。近藤さんは国税専門官という自身の夢や学校での活動などをつづり、面接では大会への意気込みを訴えた。5月中旬に日本代表選出の知らせが届いたといい、近藤さんは「自信はなかったのだけれしかった。両親も喜んでくれた」と笑顔を見せる。

決勝戦は問題の難易度が増すが、吹奏楽部の活動や大学の受験勉強などの合間を縫って模擬問題を解いているといい、「満足のいく結果を残したい」と意気込んでいる。